

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第294号 平成9年6月



『入園式』 池谷敏郎

目 次

	頁		頁
1. 平成9年度第1回定時総会開催		5. 地区だより	
広報部	2	青梅地区	
2. 理事会報告	4	青梅医師会第2回勉強会報告	13
3. 会員通知・医師会の動き	8	6. 同好会短信	
4. 各部だより		写真展開催	広報部 14
東京都医師会代議員会結果		7. お知らせ	事務局 15
総務部	9	8. 表紙のことば	池谷敏郎 15
情報提供書兼健康診断書・西多摩		9. あとがき	小机敏昭 16
市町村統一書式について	10		
学術インフォメーション	12		

平成9年度 第1回定期総会開催

平成9年度第1回定期総会は、平成9年5月30日(金)午後7時30分より西多摩医師会館会議室に於いて、玉木総務部長の司会により下記次第で開催された。

1. 開会宣言 総会議事規則第3条により宮川会長が宣言す。
1. 議長指名 同第3条第2項により会長が、川崎健一郎会員を選任し指名す。
1. 議長登壇
1. 副議長指名 議長が、足立卓三会員を指名す。
1. 資格審査 川崎議長が会員総数390名の内出席29名、委任状208名、計237名で会員総数の過半数（196名以上）で成立した旨報告す。
1. 物故会員に対する黙禱 平成9年4月13日米谷豊光先生に対して黙禱を行った。
1. 開会挨拶 宮川会長
1. 議事録署名人指名 議長が、木野村幸彦会員、細谷純一郎会員を指名す。
1. 議題
1. 報告事項
 - 平成8年度各部事業報告を各担当部長が行った。
 - 福生の中村会員、あきる野の大塚会員より、総会の質疑等の報告をもう少し詳細に医師会報に報告した方がいいのではないかとの意見が出された。
 - 福生の西村会員より、保険点数改正についての説明会等の迅速な対応を強く望むとの要望が保険部になされた。
1. 審議事項
 - 第1号議案 平成8年度収支計算につき承認を求める件
 - 第2号議案 平成8年度預かり金につき承認を求める件
 - 第3号議案 平成8年度西多摩医師会互助会収支計算につき承認を求める件
 - 3議案につき高水経理部長より説明がなされ、道又監事より監査報告が行われた。
 - 福生の西村会員より、国保講習委託費について、又、今後の医師会報のあり方について意見が出された。
 - 3議案とも賛成多数で原案通り承認された。
1. 閉会宣言 総会議事規則第3条により宮川会長が閉会を宣言す。
1. 閉会挨拶 真鍋副会長が行った。
1. 議長団降壇

総会終了後のフリートーキングにて、福生の中村会員より、多摩地区医師会懇親会の当番幹事の時の予算措置について、積立て等の準備が必要なのではとの質問があり、高水経理部長が、前回幹事医師会への調査により、数十万の予算で済むとの報告を得ており、単年度予算にて十分対処できるとの回答を行った。



理事会報告

★ Information

5月定例理事会

平成9年5月8日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

(I) 各部報告

(担当部長)

- (学校医) 5月25日十三大都市学校医大会出席予定。感染症集団発生時の対応について準備したい。
- (総務) 歯科医師会のB型肝炎予防接種の準備ができたので秋に実施したい。協力医療機関の登録を始める予定である。

(II) 各地区会よりの報告

(各地区長)

- (青梅) 特になし。
- (福出) 6月3日総会予定(決算)。6月11日福生三師会総会予定。
- (羽村) 5月18日地区連絡会予定。5月28日勉強会予定。
- (あきる野) 特になし。
- (瑞穂) 特になし。
- (日の出) 特になし。

(III) その他

- (保険部) 7月上旬に整備委員講習会予定。
- (会長) 乳幼児特殊救急の説明会について報告。

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

— 承認 — (玉木理事)

(II) 多摩川・秋川保健所運営協議会委員の推薦について

(玉木理事)

多摩川保健所については 大堀洋一 理事、
秋川保健所については 小机敏昭 理事 を推薦する。

【3】 協議事項

(I) 平成8年度収支決算書等(案)について

— 承認 — (高水理事)

(II) 平成8年度事業報告書の承認について

— 承認 — (玉木理事)

(III) 地域産業保健センター設立について

(奥野理事)

平成9年度中に都内で、西多摩も含め10ヶ所のセンター開設予定。7月中に開所式を開ける様に準備する。センター参加協力医療機関を募集する。

(IV) その他

(総務部)

(玉木理事)

情報伝達効率化検討委員会の答申に沿って、実務を行なう委員会を総務のもとに新たに設置する。

5月定例理事会

平成9年5月20日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

(I) 都医地区医師会長協議会報告

(宮川会長)

1. 都医からの伝達

(1) 第225回臨時代議員会結果について

都医の新執行部が決定した。

(2) 「緊急感染症FAXサービス事業」における医療機関等のFAX番号等の登録についての協力依頼について

この事業を希望する病院・診療所はそのFAX番号等を厚生省保健医療局感染症課に登録してもらいたい。

(3) 第20回日本プライマリーケア学会について

6月14、15日東京国際フォーラムで開催されるので、出席をお願いしたい。

(4) 健やかTOKYOについて

地区医師会の御協力をお願いする。

(5) 「1000万投票BS20世紀日本のうた」への投票協力について

レセプト提出時に投票用紙が配付されるので御協力をお願いしたい（NHKには「健やかTOKYO」で御世話になっているので）

(6) 検査相談電話の開設について

区内では東京都監察医務院院長が対応する。

(7) 保健所運営協議会について

医師会代表の協力をお願いしたい。

(8) 平成9年度「かかりつけ医機能推進事業」実施にかかる協力依頼について

(9) 地域産業保健センター設置医師会について

本年7月までに18ヶ所全部のセンターが設置される。

(10) 訪問看護ステーション設置状況について

142ヶ所設置（福生、羽村、瑞穂、檜原、奥多摩は0）

(11) 東京都医師会「共済部会」への新規部会員加入促進について

2. 協議事項

なし

3. 地区医師会からの報告

なし

(II) 定款施行規則改正検討委員会報告

(真鍋副会長)

議事規則全般について検討中。

(III) 各部報告

(担当部長)

(学校医) 十三大都市学校医大会で「いじめ」がテーマになるので参加予定。

(総務) インターネット講習会を予定。

(IV) 各地区会よりの報告

(各地区長)

(青梅) なし。

(福生) なし。

(羽村) 5月13日地区連絡会を開いた。互助会、情報伝達の委員会答申について話合った。互助会については、大半の会員は解散に賛成であった。

(あきる野) 5月18日例会を開いた。委員会答申について協議。互助会については何らかの形で継続していきたいとの意見が大勢。外郭事業体については否定的。

(瑞穂) なし。

(日の出) なし。

(V) その他

腸管出血性大腸菌O-157情報連絡会の開催について

(玉木理事)

6月2日多摩川保健所主催にて開催予定。医師会より出席予定。

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

— 承認 —

(玉木理事)

(II) 東京都立青梅看護専門学校運営協議会委員の就任について

(玉木理事)

宮川会長留任を承認。

(III) 東京都医師会学校医会評議員選出について
村山理事を推薦。

(玉木理事)

(IV) 平成 9、10年度夜間診療実施対策協議会委員、乳幼児特殊救急診療事業二次医療圏医師会
代表者の推薦について
宮川会長留任を承認。

(玉木理事)

【 3 】 協議事項

(I) 平成 9 年度第 1 回定時総会全般について
総会開催通知、総会次第について承認。

(玉木理事)

(II) 平成 8 年度収支計算書等の承認について
監査報告書の通り承認。

(玉木理事)

(III) 地域産業保健センター設立の件
7 月開所式の細部については次回までに決める。コーディネーターについては当分の間、
事務長が兼任する。

(奥野理事)

(IV) 仮称「ニューメディア委員会」の設置について
情報伝達効率化検討委員会の答申に基づいて、上記委員会を常置委員会として新設した
い。各地区での意見をきいた上でOKとなれば、早速に発足させたい。

(玉木理事)

(V) その他

(1) 平成 9 年度多摩医学会役員の推薦について
全員留任で承認。

(小机理事)

(2) 在宅医療にかかる感染性廃棄物の適正処理について
会員への文書を次回レセプト提出時に配布する。

(玉木理事)

(3) 情報提供書兼健康診断書・西多摩市町村統一書式について
―― 承認 ――

(大堀副会長)

(4) 新会員 (A) との懇親会の件
6 月中旬開催予定。

(宮川会長)

(5) インターネット講習会について
7 月 5 日青梅 J C 主催のインターネット入門講座に医師会員も参加させてもらえる。

(玉木理事)

会員通知

- 生活保護法における医療券・診療報酬明細書のA4判化移行中の取扱いについて
- 日本医師会生涯教育講座
- 日医主催「第29回産業医学講習会」の開催並びに申込用紙の配布方依頼について
- 平成9年度東京都医師会産業医前期研修会の開催について
- 9年度第1期会費の納入について
- 診療報酬点数表の改正等に伴う実施上の留意事項について
- 東京都医療費助成実施要綱等の一部改正（特殊疾病（難病）の診断基準の見直しによる病名の変更）について
- 東京都の医療費助成事業（福）にかかる老人薬剤情報提供料等の取扱いについて
- 国保振込銀行変更について
- 平成9年度西多摩医師会第1回定時総会開催について

医師会の動き

医療機関数	185	病院	28	役員出張
		診療所	157	5月16日 多摩ブロック会長会
会員数	391	A会員	174	〃 都医会長会
		B会員	217	17日 都立あきる野学園開校式
会議				21日 生保指定機関調査（立会）
5月2日	経理部会			〃 多摩ブロック医師会代議員会
8日	理事会			〃 東京労働保険医療協会評議員会
9日	監査会			24日 府中市医師会創立30周年
12日	定款施行規則改正検討委員会			記念式典
20日	理事会			25日 十三大都市学校保健協議会
21日	会報委員会			(名称変更)
30日	9年度第1回総会			(新) 医療法人社団 池谷医院
講演会・その他				池谷医院
5月8日	整備会			(開設者・管理者変更)
14日	法律相談			(医社) 池谷医院
27日	学術講演会			(新) 池谷敏郎 (旧) 池谷優子
	講師：(財)日本漢方医学研究所 附属渋谷診療所副所長 稻木一元先生			(医社) 米谷内科医院
	演題：漢方概論と補剤について			(新) 波多野元久 (旧) 米谷豊光
				(管理者変更)
				新町クリニック
				(新) 高木 敏 (旧) 辻岡 浩

1. 東京都医師会理事（定款第12条第3項による）選挙

当選 東京都医師会 理 事 田 中 隆

1. 東京都医師会理事選挙

当選	東京都医師会	理 事	静 谷 晴 夫
"	"	"	木 村 佑 介
"	"	"	唐 澤 祥 人
"	"	"	山 田 統 正
"	"	"	村 田 欣 造
"	"	"	青 井 禮 子
"	"	"	奈 良 橋 喜 成
"	"	"	樋 口 正 俊
"	"	"	鈴 木 聰 男
"	"	"	天 本 宏
"	"	"	野 中 博

1. 東京都医師会監事選挙

当選	東京都医師会	監 事	中 嶋 三 郎
"	"	"	中 村 尚 道

1. 東京都医師会医道審議委員選挙

当選	東京都医師会	医道審議委員	山 崎 倫 子
"	"	"	山 崎 衛
"	"	"	石 尾 和 敏
"	"	"	横 山 巍
"	"	"	海 老 原 勝
"	"	"	大 和 宏
"	"	"	久 米 和 夫
"	"	"	青 木 宣 昭
"	"	"	伊 藤 嘉 明
"	"	"	西 村 邦 康
"	"	"	矢 部 裕

(2) 情報提供書兼健康診断書・西多摩市町村統一書式について

かねてより、上記統一書式問題について、医療協等の場において各市町村担当者と西多摩医師会とで話し合われてきましたが、此の度、漸く、統一書式について合意ができました。
 (次頁参照)

(情報提供書兼健康診断書・西多摩市町村統一書式)

年 月 日

市町村長 殿

(医療機関住所・名称)

(電話番号)

(ファクシミリ)

(医師氏名)

印

患者氏名		住所				電話番号	
性別(男・女)	生年月日 明・大・昭 年 月 日 生 (歳)				職業		
診療形態	1. 外来 2. 往診 3. 入院 (平成 年 月 日)					情報提供回数	回
主傷病名		発症年月日				受診年月日	
(主治医氏名)							
寝たきり度(該当するものに○)							
J 一部自立	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する。						
A 準寝たきり	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。						
B 寝たきり 1	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上の生活が主体であるが、座位を保つ。						
C 寝たきり 2	一日中ベッドの上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。						
日常生活活動(ADL)の状況(該当するものに○)							
移動	自立・一部介助・全面介助	食事	自立・一部介助・全面介助				
排泄	自立・一部介助・全面介助	入浴	自立・一部介助・全面介助				
着替	自立・一部介助・全面介助	整容	自立・一部介助・全面介助				
痴呆性老人の日常生活自立度							
I 何らかの痴呆を有するが、日常生活は家庭内及び社会的には自立している。							
II 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立可能。							
III 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々みられ、介護を必要とする。							
IV 日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする。							
V 著しい精神症状や問題行動、あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする。							
病状・既往歴・治療状況・退院の年月日等							訪問診療 有・無
							訪問看護 有・無 (月 回)
* 特別養護老人ホーム入所・デイサービス・入浴サービス等については、下記項目も記入する。 (下記のうち、必要とする項目に○印を付して検査を依頼すること)							
1 檢便(赤痢菌等)陰性・陽性()	7 胸部X線	異常あり					
2 梅毒反応 陰性・陽性()							
3 B型肝炎 陰性・陽性()							
4 C型肝炎 陰性・陽性()							
5 M R S A 陰性・陽性()							
6 介護 陰性・陽性()							
8 その他の感染性疾患で検査を必要とするもの [注*] ()							
(特別養護老人ホーム入所の場合) 上記の状態にあるので、特別養護老人ホーム入所における日常生活及び団体生活に支障ないものと認めます。 (医師氏名) 印							特記事項
(福祉サービスを受ける場合、必要と考えるサービスの内容) 1. デイサービス 5. 訪問指導(下記指示事項に○) 2. 入浴サービス (1) 清潔の保持 3. ショートステイ (2) 機能訓練 4. 機能訓練 (3) 生活指導 (4) 医療処置 (5) その他 6. その他							

注* その他の感染性疾患で検査を必要とするものについては、具体的な項目を()内に記入する。



学術部 Information



《6月の学術講演会》

① 6月10日(火) 7:30 pm~ 於: 西多摩医師会館講堂

演題名: 「最近の耐性菌の話題」

講 師: 順天堂大学医学部細菌学教室教授 平 松 啓一 先生

平松先生は、1975年東京大学医学部卒業、1977年同大第三内科入局、1981年マサチューセッツ工科大学 Research Associate、1984年東京大学医学部細菌学教室助手、1985年東京医科歯科大学口腔細菌学教室講師、1988年順天堂大学医学部細菌学教室講師、1992年から現職、東京医科歯科大学客員教授・東京大学医学部非常勤講師を兼務されています。Drug Resistance Updates (USA)・Journal of Infection and Chemotherapy (Japan) の Editor、日本化学療法学会・日本細菌学会・日本環境感染学会・耐性菌シンポジウムの評議員として御活躍中です。主な研究テーマとして、化学療法剤（抗生物質）の開発・薬剤耐性のメカニズム・グラム陽性菌の分子遺伝学などが挙げられます。

今回は、近年様々な形で問題になっている耐性菌について hot な話題を提供していただき、現状と今後の対応につき考えてみたいと思います。

〈学術講演会聴講メモ〉

平成9年4月28日 (月)

演題名: 「日内変動からみた高血圧治療」

講 師: 東京女子医科大学付属第二病院内科1講師 渡辺 尚彦 先生

血圧は日中から夜間にかけての生理的な変動のほか白衣高血圧に代表されるような精神的、肉体的ストレスによって思いもかけない変動が見られる。10年間、自ら24時間血圧計を連続装着して見て寒冷下での上昇も時間とともに慣れによる回復が見られるなどの知られていない事実も知ることが出来た。スポーツでは瞬発的に力を出す場合は上昇し、ゆっくり力をかける有酸素運動の場合は低下する。このように身体には一定の条件下で血圧を正常に保つようする仕組みが働くものと考えられる。一般に血圧には日、週、月、年、季節にわたる周期があり外来計測だけではコントロールの良否判断は難しい。こうした周期に血圧変動の激しい人や精神的緊張によって血圧上昇の激しい人にはβブロッカーが有効である。夜間に血圧の低下しない non-dipper 型では血管事故の危険があるが、ISA

(内因性交感神経刺激作用)のある β プロッカーでは夜間にnon-dipperとなるので注意を要する。他に抗不安薬の使用やrelaxationのための自律訓練法が(AT療法)も有効である。降圧剤を使用していても日内周期や週内周期で血圧は大きく変動することがあり、24時間血圧計の装着はともかく家庭血圧を頻回に見て治療の参考にすることがたいせつである。降圧剤の服用時間は食事時間にこだわらず、例えば早朝高血圧タイプでは効果があるならば就寝時でも起床前でも良いであろう。

(坂本)

地区だより

青梅地区

青梅医師会第2回勉強会報告

青梅医師会学術部主催の第2回勉強会が5月28日(水)午後7時より青梅市立総合病院講堂にて開催されました。今回は、青梅市立総合病院循環器科部長の坂本保己先生が講師で、「心筋梗塞急性期の心電図変化と冠動脈所見について」の内容で講演をしていただきました。先ず、ここ10年程の青梅市立総合病院での心筋梗塞患者数、死亡率の推移の概要をグラフで解説され、患者数は大巾に増加している事、当初50%程の死亡率が最近は治療法の進歩等で10%以下になってきているとの

ことである。総合病院での12名の症例について、心電図の経過、冠動脈造影所見について金沢先生の解説も混じえていただき、ポイントを詳細に解説していただいた。一回の心電図では診断が困難な例も多く、訴えをよく聞いて、「心筋梗塞」の可能性を念頭において、心電図の時間経過での変化、血清酵素の動きを十分に観察していく事が大事であると感じました。第3回の勉強会はテーマは未定とのことですですが、1~2ヶ月先に開催予定だそうです。



同好会短信

第19回西多摩医師会写真展開催

毎年恒例の西多摩医師会写真部主催の写真展が5月20日より26日まで、羽村市コミュニティーセンター2階ロビーにて開催されました。いずれ劣らぬ力作揃いで、コミュニティーセンターを訪れた方々の目を楽しませてくれていました。

(広報部)



お知らせ

事務局より お 知 ら せ

7月（6月診療分）の

保険請求書類提出日

7月8日（火）

—— 正午迄です。 ——

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禱八先生による法律相談を
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談下さい。

- ◎ 相談日 6月は11日（水）
7月は9日（水）の予定です。
- ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
- ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎ 相談料 無 料（但し相談を超える場合は別途）
- ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙のことば

『入園式』

長女桃子が1歳の誕生日に開業。おかげさまで開業3年目を迎え、桃子も幼稚園入園となりました。うれしい入園式のスナップです。

池谷敏郎

原稿募集

事務局又は
広報委員まで



あとがき

4月に「互助会あり方委員会」・「情報伝達効率化検討委員会」の答申が出た。各地区で各委員の生の意見を耳にするようになってきた。若い会員の中に互助会存続の声が聞かれる。ベテランDr. でインターネットを活用している話をよく聞く。秋には「定款施行規則改正検討委員会」の答申が出ることになっている。今、西多摩医師会は大きく動いている。

小机敏昭

社団法人 西多摩医師会

平成9年6月1日発行

会長 宮川栄次 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 樋口昭夫

石井好明 片平潤一 百瀬真一郎 高水松夫

田村啓彦 奥野仁 小机敏昭

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

健康の輝きをひろげる。



BML

株式会社 ビー・エム・エル

本社：〒166 東京都長崎区高円寺南1-34-5 TEL.03-3316-0111(代)

総合研究所：〒350 埼玉県川越市約1361-1 TEL.0492-32-0111(代)

R
ETAIL BANK
あさひ銀行

あなたの街の
あさひです。

あさひ銀行

東青梅支店	TEL.0428-22-2121(代)	〒198 青梅市東青梅2-17-4
奥多摩特別出張所	TEL.0428-83-2515(代)	〒198-02西多摩郡奥多摩町氷川1421
青梅支店	TEL.0428-22-1101(代)	青梅市青梅295
河辺支店	TEL.0428-24-2401(代)	青梅市河辺町10-2-9
福生支店	TEL.0425-51-1021(代)	福生市福生1048
村山支店	TEL.0425-61-1211(代)	武藏村山市中藤4234
秋川支店	TEL.0425-58-2611(代)	あきる野市下代継111-5
羽村支店	TEL.0425-79-0881(代)	羽村市五ノ神4-13-10
五日市支店	TEL.0425-96-1311(代)	あきる野市五日市840-1

スズケンはTOTAL MEDICAL SUPPLYを目指します。



健康。すべての人の願い。

人々のしあわせを支える健康。
スズケンは薬一粒の意味の重さを
大切にして、誠実ひとじに
たゆまぬ努力をつづけてまいります。

医薬品総合商社
株式会社スズケン

本社：名古屋市東区東片端町1番地
TEL.052(961)2331 FAX 461

●スズケンのセールスマシンは全国120余ヶ所の営業所でみなさまのお世話になっております。



最新のテクノロジーガが計測します
そして、人の眼と心が記録します

臨床検査のパイオニア
保健科学研究所

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 〒983 仙台市宮城野区栗町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)